

24
25



 U-NEXT

 Premier
League

REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【22】 0119_エヴァートン VS トッテナム

DATE

2025/01/19

NAME

田中裕介



エヴァートン

4-2-3-1



トッテナム

3-4-2-1

プレミアリーグ・昨日

試合終了



3

-

2



エヴァートン

トッテナム

ドミニク・キャルバート=ルーウィン 13'
 イリマン・エンジアイ 30'
 アーチー・グレイ 45+7' (OG)



デヤン・クルゼフスキ 77'
 リシャルリソン・デ・アンドラーデ 90+2'



サブメンバー



- 2 ネイサン・バターソン ↑
- 5 マイケル・キーン ↑
- 18 アシュリー・ヤング ↑
- 11 ジャック・ハリソン
- 12 ジョアン・ヴィルジニア
- 14 ベト
- 31 アスミル・ベゴヴィッチ
- 45 ハリソン・アームストロング
- 67 マーティン・シェリフ

- ↑ リシャルリソン・デ・アンド... 9
- ↑ マイキー・ムーア 47
- セルヒオ・レギロン・ロドリゲス 3
- 梁民赫 18
- ブランドン・オースティン 40
- ウィル・ランクシャー 42
- Oyindamola Ajayi 63
- カラム・ラティフ・オルセシ 64
- マラキ・ハーディ 79



チーム別データ

12	シュート	11
6	枠内シュート	6
35%	ボール支配率	65%
326	パス	612
82%	パス成功率	86%
14	ファウル	14
2	イエローカード	1
0	レッドカード	0
2	オフサイド	1
3	コーナーキック	8

MATCH REPORT

SCORE 3-2 (1st 3-0 2nd 0-2)

TOP3 point

- ・グディソン・パークの圧力ハイプレッシング
- ・前半の出来で試合が決ってしまったスパーズ
- ・エヴァートン10番エンディアイエの圧巻ゴラッソ

Challenges to the Next

- ・可変システムの狙い提示
- ・ロングボールを使う狙いの言語化
- ・セットプレーの守備の乱れの指摘

【エヴァートン】

システムは4-2-3-1。

立ち上がりから相手に襲いかかるハイプレスを遂行。

非保持からのボール奪取→ショートカウンターはチームとしての狙いとして感じた。特にサイドに追い込んだ際の迫力や強度の高さは目を見張るものがあった。

先制点は狙いの形からエースのカルバート＝ルーウィン。

最後まで切り返して相手を見て優位に立つ落ち着きを披露。

2点目は保持からボールを繋ぎミドルサードから抜け出したエンディアイエの圧巻の個人技から2点目。

前半終了間際にセットプレーの崩れからオウンゴールを誘発。

勢いを持って入った前半を最高の形で終える。

後半も前半同様守備の強度を保ちながら時間の経過を待つ。

スパーズがロングボール主体の攻撃に変えてからは守備の矢印が

後方になりインテンシティも落ちた。

相手の圧力もあり最後は畳み掛けられたがなんとか逃げ切りに成功。

待望の勝点3をGET。

MVPは10番エンディアイエ。

仕掛けてよし、キープしてよしの文句なしのプレーだった。

【トッテナム】

システムは3-4-3。

前半グレイが3バックの右に入り可変システムを採用。

インサイドに入る、ワイドで幅をとるなどの工夫をしたが効果的なビルドアップにはつながらず混乱を招く。

エヴァートンのプレッシングの圧力に負けてしまうシーンが目立つ。

ロングボール一本にソン・フンミンが抜け出すもシュートまでは行けない。

反対に守備では相手の非保持からのショートカウンターのスピードについていけず3失点。いいところなく前半を終える。

後半はCBを一枚下げて最前列りリシャーリソンを投入。

明確なターゲットを作り、本来の4-2-3-1の形に戻す。

この変更によりボールの流れはスムーズになる。

得点はソンのスループスに抜け出したマディソンの折り返しのこぼれからクルセフスキの技ありループ。ショートコーナーからリシャーリソンが合わせる。

2点を奪い詰め寄るも万事休す。

後半はロングボールを多用して前線のターゲットに当たったボールを回収することで相手のプレスを回避することに成功。

後半の戦い方が前半にできていれば結果は違ったかもしれない。

いずれにせよ課題が残る試合内容だった。